

ニトリホールディングス(9843)



— 30期連続の増収増益へ —

28日に発表したニトリホールディングスの2016年2月期の前期実績は売上高が前期比9.8%増収の4581億円、営業利益が同10.2%増益の730億円となり、会社計画を売上高、営業利益ともに3%程度上回って着地しました。既存店売上高が3.2%増と前年を上回ったうえ、販管費の増加を原価の改善で吸収し29期連続の増収増益を達成しています。

円安が業績にマイナスに働くニトリですが、前期は円安による減益要因を商品入替等の原価改善でカバーしています。1円の円安が16億円の減益要因となることから前期は円安が粗利益率を0.9ポイント引き下げたものの、円安によるマイナスを上回る商品入替等による原価改善で粗利益率は53.2%と前々期から0.9ポイント改善しています。

今期は円安の影響をカバーし切れず粗利益率は悪化する見込みです。今期は半分程度の商品を入れ替える予定で、これが粗利益率を2.1ポイント押し上げますが、円安による悪化を補い切れず粗利益率は前期に比べ0.6ポイント低下する予定です。しかし、既存店売上高が2.9%増と引き続き伸びる見込みのうえ、販管費比率の低下もあって営業利益は前期比8.2%増益の790億円となる見通しです。

会社計画におけるドル円的前提は110円ですが、今期は108円で既に予約済みです。したがって売り上げが大きく上振れてスポットで為替をとりに行くようなことがなければ、為替のマイナス影響が結果的に小さくなる可能性もあります。今期も二桁の営業増益で30期連続の増収増益に期待したいところです。

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、「[リスク・手数料などの重要事項に関する説明](#)」をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会